

災害時のための炊き出し訓練

「いもたき」作りました



9月の北海道胆振東部地震では、いわゆる「ブラックアウト」大規模停電が発生し、問題になりました。もし、当院において停電が発生すると、蛇口から水は出なくなり、調理場の調理器具はすべて使えなくなりません。これに備えるため、非常用のガス器具を使って、炊き出し訓練を行いました。



ガスボンベにコンロをつないで準備OK
子どもたちも興味津々で見えています。

前日からの雨もあがり、11月とは思えないぽかぽか陽気の晴天です。メインは愛媛の秋の風物詩「いもたき」、しらたま団子も入って具だくさんです。炊き込みご飯は大きなガス釜で炊きます。海の幸(えびとハマ

グリ)は炭火を起こし七輪で焼きます。いちばんお兄ちゃん(4才)になったA君から「えびのにおいがする」という声が聞こえてきました。



ハマグリひらいた!!

火を点けてから調理時間約1時間で料理は完成。その間、子どもたちは普段見られない調理場さんが料理を作る姿に見入っていました。



最後は、ホールに全員集まって、久しぶりにいっしょにごちそうをいただきます。

ボランティア紹介

松山商業高校



子どもたちがお昼寝している間、ツリーの装飾をしてもらいました。

松山商業高校家庭クラブは最も古いボランティアの一つです。夏の七夕祭りの主催・年十日程度(一日あたり6時間)の活動を毎回メンバーが変わりながらいただいています。

普段、乳幼児と接する機会の少ない高校生たち。人見知りや泣かれてしまったり、食事の介助では食べてくれなかったり・・・苦勞しながらも子どもたちのお世話に職員のアドバイスに耳を傾けながら一生懸命です。

感想文にも真剣な様子が現れています。「自分の気持ちを言葉に出して伝えられないので、それを分かって理解してあげられるようになりた

い。「おしっこを漏らしてしまった子に(職員が)真剣に教えている姿に感心した。」「食事の場面では嫌がったり、泣き出したりしてタイミングが難しかった・・・子どもたちの笑顔を見れたときが一番うれしい瞬間だった。」「とても貴重な体験をさせてもらって、将来活かしたいと思った。」

職員一同、この感想を読んでむしろこちらの方が励まされています。院でのボランティアが、将来、何かの役に立てば幸いです。これからもよろしく願います。

【行事予定】

12月23日 クリスマス祝会
午後2時30分〜4時30分



1月 お正月
2月 節分
3月 ひなまつり

発行所 松山市久万ノ台一七三
社会福祉法人
コイノニア協会 松山乳児院
電話(〇八九)九二二一九七二〇
〒791-8016